

マイマイガ 今年も大量発生が予想されています

昨年、市内で大量発生したマイマイガは、これまでに全国各地で大量発生しています。大量発生の原因は不明ですが、その発生期間は、通常2～3年継続するとされており、今年も大量発生が予想されています。

発生を止める方法や一斉に駆除する有効な手段がないため、幼虫などの駆除について、市民の皆様のご協力をお願いします。

今号では、幼虫の駆除方法についてお知らせします。

問合先 **マイマイガ対策本部**
(生活環境課内) ☎35-3138



マイマイガの成虫(左:メス/右:オス)
(北海道立総合研究機構林業試験場提供)

マイマイガの成長過程



① 6月上旬頃の幼虫(2～3cm)
広葉樹の葉などを食べながら通常5回程度脱皮を繰り返し、大きくなります
(岐阜県病害虫防除所飛騨支所提供)



② 6月中旬から7月上旬頃の幼虫(6～7cm)
最大で8cm程に成長します。頭はオレンジ色、黒いハの字の斑点があります。体の色はかなり変異があります
(岐阜県病害虫防除所飛騨支所提供)



③ 幼虫は2カ月ほどで発育を完了し、樹幹、物陰などでサナギ(3～4cm)となります。サナギの期間は十数日です。(北海道立総合研究機構林業試験場提供)

幼虫の駆除方法

バケツに水と少量の洗剤を入れておき、火箸や火ばさみで捕まえ、中に入れ溺死させます。

※溺死させた幼虫は可燃ごみとして出してください。また使い終わった水は、下水道等に流してください(河川や側溝には絶対に流さないでください)。

※幼虫に触れるとかぶれ等を引き起こすことがありますので、駆除の際は長袖や手袋などを着用してください。

小さい幼虫(写真①)には…

ケムシ用の殺虫剤や農薬(登録農薬:スミパイン乳剤、トレボン乳剤)も効きますが、ご使用にあたっては以下の点にご注意ください。

- ① 農薬の散布は、補殺などの駆除ができないなど、止むを得ない場合のみに留めてください。
- ② 農薬の使用時は、その薬剤の使用法や注意事項を厳守してください。
- ③ 農薬の使用については、厳しい制限があります。購入・使用前に岐阜県病害虫防除所飛騨支所(33-1111内線245)にご相談ください。

サナギ(写真③)の駆除

サナギを見つけた場合は、小さい袋などに入れ、可燃ごみとして出してください。

大きい幼虫(写真②)には…

樹木の幹に布や農作物の寒さよけや日よけとして使用する寒冷紗(かんれいしゃ)などを巻き、虫を集めて駆除する方法があります。

幹に布や寒冷紗を巻いておくと、その下側や隙間に幼虫が集まります。

集まった幼虫はバケツに水と少量の洗剤を入れておき、溺死させます。

巻き方

- ① 作業しやすいところに巻きます。写真は地上から60～130cmです。
- ② 樹皮に密着するように1周巻き、上下をホチキスなどで固定します。
- ③ 2周目を巻き、上だけホチキスなどで固定します。
- ④ 2周目の布をのれん状になるように下端から20cm程切り、布の中に虫が潜りやすいようにしておくと、その下側や隙間に幼虫が集まります。



北海道立総合研究機構林業試験場提供



切り込みを入れる

効果的です! 成虫を寄せ付けない方法

- (1) 不要な灯りを消すとともに、室内の光が外に漏れないようにする
- (2) 外灯をLED電球やUVカット電球など虫が寄りにくい電球に交換する
- (3) バリア効果のある殺虫剤や防虫忌避剤を、窓や壁に吹き付ける
- (4) 窓ガラス用の防虫フィルムも効果があります

市では、屋外スポーツ施設のナイター照明を、マイマイガが発生すると思われる期間は、使用休止にしますので、ご理解ご協力をお願いします。

市ホームページでは資料等も併せて掲載していますのでご覧ください <http://www.city.takayama.lg.jp/seikatsukankyou/maimaiga.htm>

2014.6.15